

博士課程教育リーディングプログラム
平成 29 年度 第 4 回バトンゾーン特論講演会

脳回路のノイズ、脳研究のノイズ

聴講
自由

講師

池谷 裕二 氏 東京大学 薬学部教授

● 概要

脳の可塑性は、環境からの刺激に応じて変化し、その環境に適応してゆくために必要なプロセスです。生来的なプログラムだけで生存に十分であることは、多くの生物が脳を持たない事実からも明らかです。しかし、予期せぬ状況に直面したときに効果的に適応するときに可塑性が有利に働きます。可塑性とは、言い換えれば、「遺伝子で決まるデフォルトから、どれだけ自由に羽ばたくことができるのか」という能力のことです。そんな観点から、私は可塑性を研究しています。当日は私の研究室で稼働している「脳創発プロジェクト」（自称）の中から、脳回路の自発活動の話題を中心としながら、脳の自己操作や自発的記憶想起に関する話題を展開します。

● 略歴

1970 年 8 月 静岡県藤枝市生まれ
1998 年 3 月 東京大学・大学院薬学系研究科にて薬学博士号取得
1998 年 4 月 東京大学・薬学部・助手
2002 年 12 月 米・コロンビア大学・生物科学講座・客員研究員
2006 年 2 月 東京大学・薬学部・講師
2006 年 10 月 科学技術振興財団さきがけ・研究員（併任）
2007 年 8 月 東京大学・薬学部・准教授
2014 年 4 月 東京大学・薬学部・教授



日時：平成 29 年 12 月 14 日（木）

14：40～16：10

会場：豊橋技術科学大学 A2 棟 101 号室

問合先：リーディング大学院教育推進機構

leading@office.tut.ac.jp

0532-44-1028